

医療法人
明輝会

診療所、通所リハビリテーション・有料老人ホーム (鹿児島市)

構造	木造平屋建/木造2階建	建築面積	973㎡	延床面積	1,356.20㎡
事業費	290,133千円	補助金	144,566千円	木材使用量	379.36㎡
完成年月日	平成27年3月20日	工期	平成26年10月1日～平成27年3月20日 (171日間)		

事業主体 医療法人 明輝会
理事長 川上 秀一

施設名称 ヴィヴィッド・ヴィレッジ
〒892-0871 鹿児島市吉野町5208番1
TEL 099-295-0555 FAX 099-295-0561

施設管理者 院長 桶谷 眞
TEL 099-295-0555 FAX 099-295-0561

設計事務所 コスモプラン(株)一級建築士事務所
〒227-0061 東京都新宿区西新宿4-32-6-203
TEL 03-3370-8547 FAX 03-3370-2907

施工業者 三和建設(株)
〒892-0871 鹿児島市吉野町3216番地154
TEL 099-243-2210 FAX 099-244-0982



◆施設の概要

医療を提供する吉野東ホームクリニック（診療所）と、介護保険を利用するデイケアスマイル（通所リハビリテーション）、住まいを提供する仁田原ノ杜（有料老人ホーム）を総称してヴィヴィッド・ヴィレッジとした。医療と住まいと共有空間を一体とし、世代を超えて地域の住民の集いの場を提供することにより共生共同の地域づくりを行うことを目的とする。地域の自助、互助を導き出す地域コミュニティを構成する上でも、自然と調和した県内産木材を利用した施設を中心に活動すれば、この地域の風情を損なうこと無く活動できると考えている

◆設計のコンセプト

診療所は木が持つ暖かみを、医療分野にマッチングさせるようデザインしている。医療機器などが木をふんだんに使うことによって暖かみのある雰囲気になるよう明るい色調と大胆な吹き抜けに天窗を組み合わせ、自然な採光を演出している。

通所リハビリテーション施設では落ちついた雰囲気が持てるよう畳のスペースを組み合わせている。

老人ホームは、廊下幅を広く取り、ゆったりとした空間を演出した。



診療所，通所リハビリテーション 外観



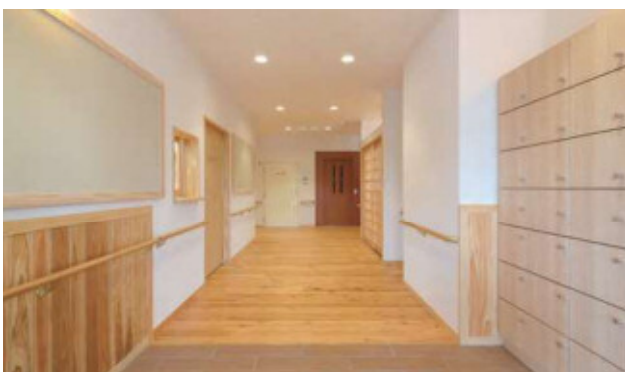
通所リハビリテーション 居間・食堂



診療所 待合



有料老人ホーム 外観



玄関



居室

株式会社
ケアリンク鹿児島

有料老人ホーム・デイサービス (鹿児島市)

構造	木造平屋建	建築面積	1028.53㎡	延床面積	988.53㎡
事業費	116,272千円	補助金	58,136千円	木材使用量	157.21㎡
完成年月日	平成28年3月18日	工期	平成27年11月16日～平成28年3月18日(124日間)		

事業主体 株式会社 ケアリンク鹿児島
代表取締役 宇田 隆光

施設名称 総合福祉センターほりん
〒899-2701 鹿児島市石谷町4995番地1
TEL 099-295-6155 FAX 099-295-6156

施設管理者 事務長 森 伸二
TEL 099-295-6155 FAX 099-295-6156

設計事務所 (株)末吉建築事務所
〒890-0034 鹿児島市田上6丁目28-26
TEL 099-251-7272 FAX 099-251-7267

施工業者 (株)小永吉建設
〒899-4463 霧島市国分下井2084番地
TEL 0995-46-2964 FAX 0995-46-4691



◆施設の概要

自然豊かな緑に囲まれた総合福祉センターほりんは、住宅型有料老人ホームほりんの家とデイサービスセンターほりんの里の施設となる。当施設では、利用者を元気にするために安全と健康に配慮した料理を提供し、生きがいを持って生活・行動できる環境作りを実施し、心の不安・ストレスを解消できる施設を目指すとともに利用者の意思を尊重し、残存能力を最大限に生かした介護を目指す。また、地域を元気にするために当施設での地域交流・人材登用・食材の調達・施設開放を行い地域が活気づく活動も行う。

◆設計のコンセプト

計画地周辺は緑豊かで、穏やかな風と日差しが心地よい。自然環境に恵まれた土地で、ゆったりと安心して過ごすことができる総合福祉センターを目指した。分かりやすい建物内ゾーニングと、高齢者に配慮した設備仕様や細部納まりにより、施設全体をバリアフリーで構成している。また室内の仕上げには、調湿・防虫等効果が期待できる「燻煙県産杉」を用いて、心身共にリラックスできる空間となっている。



外 観



食堂・機能訓練室



静養室



玄関ホール



食 堂

医療法人
真愛みどり会

通所リハビリ施設 (南さつま市)

構造	木造2階建	建築面積	329.95㎡	延床面積	468.87㎡
事業費	79,973千円	補助金	39,968千円	木材使用量	147.41㎡
完成年月日	平成28年7月16日	工期	平成27年12月21日～平成28年7月15日(208日間)		

事業主体 医療法人 真愛みどり会
理事長 坂上 譲二

施設名称 真愛病院デイケア施設
〒897-0031 南さつま市加世田東本町7番地5
TEL 0993-53-7112 FAX 0993-53-5976

施設管理者 参事 柳 義充
TEL 0993-53-7112 FAX 0993-53-5976

設計事務所 愛川建築設計事務所
〒897-0303 南九州市知覧町永里5898-1
TEL 0993-84-2014 FAX 0993-84-2014

施工業者 マル川建設(株)
〒897-0224 南九州市川辺町本別府2522-1
TEL 0993-56-1348 FAX 0993-56-0626



◆施設の概要

木造建築により居宅介護施設(通所リハビリテーション)を利用者の心和むスペースに変える。2階を会議室等とし、地域コミュニケーションの場とする。

◆設計のコンセプト

本施設は通所リハビリ施設であり、RC造の病院が建ち並ぶ一角にあることから雰囲気や和らげるために木造建築とした。

内部は、天井を一部吹き抜けにして東側に高窓を設けている。これにより、朝日の木漏れ日が、日中はやわらかい光が差し込み、室内でも自然を感じることができる。

また、木材の調湿効果によりカビ等の発生を抑え、声も反響しにくく、冬でも手触りがよく、反射によるまぶしさもなくやさしい光になる。

リビングの柱は、安全性に配慮し見た目がやわらかい丸柱を使用した。



外 観



リハビリ室



リハビリ室



洗面スペース



医者室・医局

特定非営利活動法人
シオンの家

有料老人ホーム・通所介護施設 (南九州市)

構造	木造平屋建	建築面積	495.12㎡	延床面積	490.66㎡
事業費	88,926千円	補助金	44,462千円	木材使用量	200.44㎡
完成年月日	平成27年3月18日	工期	平成26年11月7日～平成27年3月18日（138日間）		

事業主体 特定非営利活動法人 シオンの家
理事長 西村 通雄

施設名称 シオンの家 かわなべ
〒897-0202 南九州市川辺町清水字石川路平9435番3
TEL 0993-58-3701 FAX 0993-58-3702

施設管理者 管理者 坂元 友哉
TEL 0993-58-3701 FAX 0993-58-3702

設計事務所 (有)阪根宏彦計画設計事務所
〒104-0042 東京都中央区入船1-6-6
〒810-0072 福岡市中央区長浜4-2-115
TEL 0993-83-4390 FAX 0993-83-2524

施工業者 (株)ブルケン九州
〒899-5105 霧島市隼人町小田632番地
TEL 0995-42-1148 FAX 0993-42-1564



◆施設の概要

在宅介護をしっかり支える為の多様性（通所、短期宿泊、入所）ある介護サービスの提供を行い、これまでの介護事業所としての経験を活かして地域住民における在宅介護をしっかり担っていく。

有料老人ホーム14床、ショートステイ6床、デイサービス定員30名を開設することで、特養待機者への住まいの提供と安心した介護の提供を行い、また医療依存度の高い高齢者の受け入れも率先して対応していく。その為に地域の医療機関との連携も図っていく。

◆設計のコンセプト

この福祉施設は、通所介護施設と、居室群による有料老人ホームを、光庭を中心に三角形の平面構成にまとめたもので、人々の空間、生活の場を三つの片流家屋の重合する大屋根で包みこむように配し、それぞれを光庭空間が結びつけている。

内外装にたつぷりと鹿児島島の檜、杉が使われていて、外部からすぐ目に入るのは、檜の軒天が、屋根の照り返しに、黄金色に輝く姿である。外壁も檜の縦羽目板としている。内部は、柔らかな質感の杉の縦羽目板に檜のフローリングで、柱梁を天井まで現しとしている。すべての開口部はLow-eガラスで熱環境を良好とし、さらに、建物の屋根形状は四季の太陽の位置から慎重に検討され、深い幾重かの庇の効果も相まって、春以降高い高度の夏日が部屋に入ることなく、また、冬はたつぷりと光を受け取る屋根勾配が実現されている。居室は落ち着いた家型断面で、さらにそれを包むかのように、ハウス イン ハウスの形式で人々を二重に包んでいる断面構成である。小さな空間とそれを包む大きな空間が、毎日の生活に心身ともに変化を与え、生活に活気を生み出すきっかけとなることも期待されている。



外 観



デイケア



居 室



デイケア



廊 下

構造	木造2階建(準耐火構造)	建築面積	794.70㎡	延床面積	1227.29㎡
事業費	193,956千円	補助金	96,978千円	木材使用量	267.97㎡
完成年月日	平成28年3月18日	工期	平成27年9月24日～平成28年3月18日(177日間)		

事業主体	社会福祉法人興正会 理事長 小幡 美枝子	
施設名称	ケアハウス鶴水園 〒899-0122 出水市境町1822番地	
施設管理者	TEL 0996-67-5070	FAX 0996-67-2877
	事務局長 俣川 真一	
	TEL 0996-67-5070	FAX 0996-67-2877

設計事務所	(有)下舞建築設計事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町4-4	
	TEL 099-222-4114	FAX 099-227-1061
施工業者	(株)道添建設 〒899-0202 出水市昭和町17番地13号	
	TEL 0996-62-3833	FAX 0996-62-7687



◆施設の概要

既設のデイサービスセンター出水の里さつきに地域交流室及び談話コーナー、展望浴場を備えた新しいタイプのケアハウスを増築し、入居者及び利用者等と地域自治会、老人クラブ、育成会等の相互交流を促進し、地域の活性化を図ると共に入居者等及び地域住民が健康で明るく誰にも気兼ねのない幸せな生活を送っていただけるようなサービスを充実する。

◆設計のコンセプト

暮らしに潤いと幸せが実感できるケアハウス及び地域コミュニティ活動の拠点施設として整備する。

施設は、県内で生産、製材された「かごしま材」を活用した木造で建築することにより、地域の木材振興の推進を図ると共に入居者及び利用者が木材の発する空気清浄効果や癒し効果享受する。

また、建築基準法に規定する国土交通大臣告示に基づく、新たな工法を導入した準耐火建築物（通称：外壁耐火構造）とし、これの普及を図ると共に、大規模な木造建築にもかかわらず住宅用構造材を活用するなどして低コストで整備する。

温泉の活用や省エネタイプの照明機器等の採用により地球環境に配慮すると共に、段差等をなくし高齢者、障害者等がスムーズに利用することができるバリアフリーの施設として整備する。



外 観



食堂・集会・娯楽・地域交流室



居 室



廊 下

社会福祉法人
鶴寿会

ケアハウス (出水市)

構造	木造平屋建	建築面積	693.89㎡	延床面積	672.32㎡
事業費	106,920千円	補助金	53,460千円	木材使用量	173.94㎡
完成年月日	平成28年2月28日	工期	平成27年10月1日～平成28年2月28日(151日間)		

事業主体 社会福祉法人鶴寿会

理事長 吉井 一郎

施設名称 ケアハウス虹の家

〒899-0136 出水市汐見町94番地

TEL 0996-67-3161 FAX 0996-67-4666

施設管理者 事務長 鮫島 充

TEL 0996-67-3161 FAX 0996-67-4666

設計事務所 (有)丸田設計事務所

〒899-0207 出水市中央町1515番地

TEL 0996-62-9574 FAX 0996-62-0762

施工業者 (株)タイセイ工務店

〒899-1625 阿久根市波留1074-1

TEL 0996-72-0014 FAX 0996-72-0031



◆施設の概要

地域の中で、高齢者の単独世帯や生活に不安のある方が増えていることや比較のお元気な高齢者に対するサービスが少ないことから、木造平屋建のケアハウス(14床)を整備した。居室はすべて南向きで全室個室となっており、トイレやミニキッチン等も備わっている。県内産木材を豊富に使用することで、明るく開放的で木の温もりが感じられる親しみやすいケアハウスとなっている。住み慣れた地域の中で、高齢者の方々が安心して日々の生活を送ることができるような施設サービスを提供する。

◆設計のコンセプト

田園風景の中に建つ木造平屋建のケアハウス虹の家の設計時に考慮したことは、ご利用者の安全で快適な生活を第一に考え、すべて居室を南向きとした。またバルコニーを設け、採光・換気が十分で、かつ強風時にはシャッターをつけて安全を確保した。また省エネ法による断熱処理もおこない、室内環境と使用する仕上げ材料は床を除き、すべて不燃および準不燃材で仕上げ、さらにスプリンクラーを設置することで安全対策に徹した。また、ハートビル法によって利用者が出入りする部分の努力義務を満足させている。使用する木材は全てかごしま材を使用している。



外 観



廊下 (バリアフリー)



受付カウンター



居 室



ウッドデッキ

有限会社
リハシップあい

デイサービス施設 (薩摩川内市)

構造	木造平屋建	建築面積	439.86㎡	延床面積	411.82㎡
事業費	52,655千円	補助金	26,328千円	木材使用量	91.28㎡
完成年月日	平成28年2月20日	工期	平成27年9月16日～平成28年2月20日(158日間)		

事業主体 有限会社リハシップあい
代表取締役 川本 愛一郎

施設名称 デイサービスセンターリハシップあい川内
〒895-0074 薩摩川内市原田町25番25号
TEL 0996-22-7282 FAX 0996-29-3111

施設管理者 施設長 三津山 功祐
TEL 0996-22-7282 FAX 0996-29-3111

設計事務所 (有)吉永建築設計事務所
〒895-0075 薩摩川内市東大小路町54番3号
TEL 0996-23-6299 FAX 0996-23-0399

施工業者 (株)末廣組
〒895-1401 薩摩川内市入来町副田5528
TEL 0996-44-2048 FAX 0996-44-4525



◆施設の概要

現在、高齢化社会となり障害を抱えながら在宅生活をされる方が増加傾向にある。平成26年度以降に、いわゆる団塊世代総てが高齢期を迎え、介護を必要とする高齢者が増加していくと考えられる。このような社会背景により、日々介護保険のニーズと需要が高まっている。当社は『あなたを愛で支えます』を基本理念とし、「その人らしさの回復や生活の質の向上(QOL)」を重視する。介護主流の通所介護に、リハビリテーションの視点を導入し、在宅生活を支える施設作りを行い、地域に根ざした介護事業であるデイサービスで、自立支援を促すリハビリ活動を提供する。

◆設計のコンセプト

柱間のスパンが長いので、大断面の集成材及びそれに対応する金物を使用しなければなりません。市販流通材の無垢材を使用し水平梁と登り梁を組合せた梁にすることで、コスト削減が図れる。また南東面にある庇は二股肘木による木組みになっており、木構造ではより高度な品質の造作になる。なお、北東面は桁・タルキにキャップをはめることにより、木部とのデザインの面白さを表している。それから内部には間接照明で照らすぼんぼりを入れ、木と和紙のコラボにより、日本の木材利用の多様性がうかがわれる。以上のような造作は、木造のみの特徴ですので、木造一棟一棟に見せ場を入れるべきであると思う。



外観（底は二股肘木）



機能訓練室



機能訓練室・食堂



外観(夕景)

有限会社
うへの福祉会 **体育館** (鹿屋市)

構造	木造平屋建(準耐火構造)	建築面積	513.20㎡	延床面積	498.50㎡
事業費	140,289千円	補助金	70,144千円	木材使用量	204.08㎡
完成年月日	平成28年2月28日	工期	平成27年9月21日～平成28年2月28日(161日間)		

事業主体 有限会社 うへの福祉会
代表取締役 田中 幹雄

施設名称 UENO・HALL(体育館)
〒893-0056 鹿屋市上野町5197番地1
TEL 0994-36-0067 FAX 0994-31-1886

施設管理者 代表取締役 田中 幹雄
TEL 0994-36-0067 FAX 0994-31-1886

設計事務所 原園一級建築士事務所
〒893-1102 鹿屋市吾平町下名2191-6
TEL 0994-58-7723 FAX 0994-58-7723

施工業者 国基建設(株)
〒893-1602 鹿屋市申良町有里3130
TEL 0994-63-2233 FAX 0994-63-3942



◆施設の概要

当高齢者介護施設の利用者・家族・職員等に加え地域住民にも開放し、レクリエーションや交流事業等を通じ、体力増進や地域住民との親睦を深める。なお鹿屋市民の災害時等の避難所として、現在は既存施設と協定をしているが、今回も、鹿屋市と避難所として協定を締結した。

また、かごしま材をふんだんに活用した建物は、利用された方々に、木の香り、木の温もりを感じさせ、この心地よさは福祉を实践させるのに最適な環境となる。

◆設計のコンセプト

少子高齢化の急速な進行の中、高齢者世帯や高齢者のみの世帯が増加している。そのような状況の中、地域で支えあう健やかで心の通うコミュニケーションづくりの実現が必要であることから、介護施設利用者・職員・家族・地域住民の親睦交流を深めながら活用していくために、当うへの福祉会で「体育館」を建設した。近隣環境が良好で、四季を感じられる緑豊かな地域性を持っている。体育館の外観及び内観は既成概念にとらわれず、木材(鹿児島県産材)をふんだんに取り入れた、温かみのある「体育館ぽくない施設」をテーマに空間を演出し、高齢者・地域住民にとって心安らぐ場・集う場の拠点となり、環境にやさしい木造建築物は周辺地域の住民の交流促進に貢献する。なお、鹿屋市民の避難所として(トイレ・シャワー室・調理場を備え)解放する。



外 観



内観 (体育館)



内観 (体育館)



洗面・脱衣室

社会福祉法人
百合砂

グループホーム (西之表市)

構造	木造平屋建	建築面積	218.00㎡	延床面積	184.56㎡
事業費	19,855千円	補助金	9,927千円	木材使用量	47.58㎡
完成年月日	平成27年2月20日	工期	平成26年10月1日～平成27年2月20日 (143日間)		

事業主体 社会医療法人 百合砂
理事長 田上 容祥

施設名称 グループホーム銚山
〒891-3101 西之表市西之表10410番2
TEL 0997-28-3801 FAX 0997-28-3801

施設管理者 法人事務局事務次長 大内山 武志
TEL 0997-23-6161 FAX 0997-23-6163

設計事務所 ゲンブラン設計(株)
〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目16-3
TEL 099-258-5888 FAX 099-258-5880

施工業者 久永建設(株)
〒891-3101 西之表市西之表7470番地1
TEL 0997-22-0963 FAX 0997-22-1626



◆施設の概要

利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じ、共同生活住居において、相談その他の日常生活上の援助等を適切かつ効果的に行う。

また、利用者の共同生活が明るく快適な場所となるように、木の香りの癒し効果などを意識してかごしま材を使用した木造建築とした。

◆設計のコンセプト

外観は切妻の大屋根で覆い、階高さを低く抑えることで家庭的な落ち着きのあるものとした。

南側にはテラスを設け深く張り出した軒は南国の強い日差しを遮り、南北に配置した窓により風の通り道ができ、夏場はできる限りエアコンに頼ることのない快適な住環境となるようにした。

内部空間は鹿児島県産材の杉と檜を仕上げ材として多く使用することで、木の温もりが感じられるやすらぎのある空間とした。

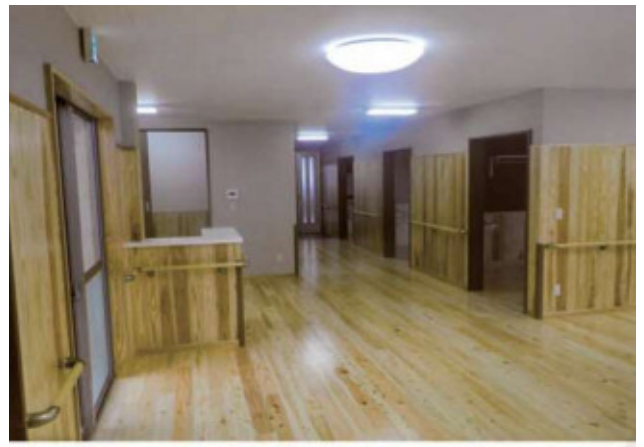
また、施設利用者は障害を抱えた方が利用するため、誰もが使いやすいユニバーサルデザインとなるように心がけた。



外 観



ポーチ



食堂・談話室



台 所



居 室